



### イサキ

田辺市は「イサキ」の漁獲量が県内1位を誇っており、これをもっと多くの人に食べてもらおうと「紀州いさぎ」としてブランド化に取り組んでいます。「紀州いさぎ」は、手釣りという漁法で一尾一尾丁寧に釣り上げ、船倉で活かしたまま帰港し、水揚げ前に活けはじめることにより、抜群の鮮度で出荷しています。



### ヒロメ

「ヒロメ」は、ワカメと同種同属の海藻で、全国でもごく限られた海域にしか分布していない非常に希少な海藻です。柔らかくてとろみがあり、しゃきしゃきとした独特の食感・歯ごたえが特長で、地元では春を告げる海藻として高い人気があります。また、「紀州ひろめ」という名称で、ブランド化に取り組んでいます。



### シラス

伝統こびきあみの小曳網漁法は、広げた網を少しずつ人の手でしぼるのでシラスの体を傷つけない漁法です。現在は効率的なバッチ網が主流ですが、磯間地区では小曳網漁法での漁も行っています。

The Kuroshio Current bestows Tanabe City with many aquatic resources. To increase the value of these resources, new dishes and processed foods are being developed, as well as new markets to increase their consumption.

## 黒潮の恵みをブランド化し 安定供給に取り組む

田辺周辺の海域は、黒潮の恵みにより水産資源の種類は多く、一本釣り漁業やまき網漁業、船曳ふなひき網漁業などが行われています。主な魚種はアジ・サバ・シラス・イサキ・カツオで、他にもイセエビやイカ等の水産動物や海藻のヒロメなどがあります。

これまで比較的漁業条件に恵まれた地域ではあったものの、近年、漁業を取り巻く環境は、厳しさを増しており、漁獲量の減少や従事者の高齢化と後継者不足が課題となっています。

水産資源の維持と増大を図るため、効果的な放流事業等を実施し、「つくり育てる漁業」を推進するとともに、販路拡大を通じて、漁業後継者の育成確保と漁業者及び

漁業協同組合の経営基盤の安定化に取り組んでいます。

また、高付加価値化を図るための加工品や料理の開発などを行い、新たな販路開拓による消費の拡大を目指しています。特に初夏に旬を迎える「イサキ」と海藻の「ヒロメ」のブランド化を積極的に推進しています。



## 強く美しい良質の紀州材を育て、 流通させる

紀州木の国と呼ばれるほど良質な杉や檜は、地域全体の経済を支えてきました。高度経済成長期には多くの人が林業に関わり、基幹産業として栄えていましたが、昭和39年以降、安価な外材が大量に輸入されるようになり、地域の林業は、次第に低迷していきました。しかし、近年、再び紀州材が、注目を集めるようになってきました。国内の建築物では、その気候風土で育った木材が適していることが再認識され、また年輪の詰まった木目が特徴の紀州材は、地震などの災害にも強いということが広く知られるようになったことも要因の一つといわれています。



龍神村森林組合 代表理事組合長  
真砂 佳明 さん

林業の後継者不足は長年の課題ですね。1ターンで雇用が生まれた時期もありましたが、子供の頃から山に入り、まきを割ったりして暮らしてきた地元の人たちとは、ベースも違い、苦労されているのが現状です。現場で働く人のほかにも、山主（森林経営者）の後継者がいないことも深刻な問題です。しかし、これらのこともできるだけ早く解決できるように、多くの方々の力を借りながら努力しています。人も技術も後世につないでいかなければと考えています。龍神材の良さを多くの人にアピールしていきたいですね。

龍神村森林組合は、昭和40年代から地域ぐるみで「龍神材（紀州材）」のブランド化に取り組んでいます。木目と色合いが美しい木材として高く評価され、また森林組合が原木市場を持つっており、伐採した木材をその場で流通できることも大きな強みになっています。宝物は、持っているだけでは意味がありません。官民一体となって林業の発展に向け、取り組んでいます。



紀州材使用住宅

High quality cedar and cypress trees provide economic support to the entire region. The Ryujin Forestry Union is working on branding this lumber, and has joined forces with the government to advance the forestry industry.